

作業計画と実績

2013年3月25日現在

月日	曜日	予定 (3/18週間予定表より)		実績							
3月18日	月	マランゴニ 実験準備 作業	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得(SMILES) ・MCE実験機器の運用	・Hicari実験供試体 取外し	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得(SMILES) ・MCE実験機器の運用						
3月19日	火			マランゴニ 実験準備 作業		[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得(SMILES) ・MCE実験機器の運用	マランゴニ 実験準備 作業				
3月20日	水							マランゴニ 実験準備 作業	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得(SMILES) ・MCE実験機器の運用		
3月21日	木									マランゴニ 実験準備 作業	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション(SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得(SMILES) ・MCE実験機器の運用
3月22日	金										
3月23日	土										
3月24日	日										

日付は日本時間

- 略語
- Area PADLES: 受動積算型宇宙放射線線量計
 - Hicari実験: 微小重力下におけるTLZ法による均一組成SiGe結晶育成の研究
(代表研究者: 木下 恭一・JAXA宇宙科学研究所 主幹研究員)
 - Alloy Semiconductor実験: 微小重力環境下における混晶半導体結晶成長実験
(代表研究者: 稲富 裕光・JAXA宇宙科学研究所 准教授)
 - GHF: 温度勾配炉
 - マランゴニ実験: マランゴニ対流における時空間構造(Marangoni UVP-2/MaranGogniat)
(代表研究者: 依田 真一・JAX宇宙科学研究所教授)
 - Stem Cells実験: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田 隆・大阪市立大学教授)
 - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
 - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
 - SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ
 - MCE: ポート共有実験装置